

2026 年度 英語英文学科 総合型選抜(探究型)
「探究活動に関するプレゼンテーションおよび質疑応答」についての Q&A

津田塾大学
学芸学部 英語英文学科

Q: この試験で取り上げる探究活動とは、高校での授業をもとにした内容でなければいけませんか。

A: この選考で評価対象となる探究活動は、高校での「総合的な探究の時間」での取り組みに限定されません。高校の課外活動や、個人で自主的に取り組んだ研究をもとに出願することも可能、。

Q: この試験では、探究活動はどのように評価されるのでしょうか。

A: 探究活動は、ただ「面白そうだから調べてみて勉強になった」ではなく、ある問題意識をもって「なぜ」「どのように」といった自分なりの問いを設定し、その答えを出すために根拠となる資料やデータを集め、説得力のある結論を導き出すことが求められます。探究活動についての概要報告およびプレゼンテーションをとおして、そうした「探究する力」を身につけているかどうかを評価のポイントとします。

Q: 英語英文学科に出願するためには、英語や英文学について調べた探究活動でなければいけませんか。

A: 探究活動のテーマは、必ずしも英語英文学科の学びに直結した分野のものでなくても構いません。選考の際に英語や英文学などについての知識を要求しているわけではありません。ただし、探究活動をとおして得たものを英語英文学科での学びに活かしていくという姿勢が求められます。

Q: 一人ではなくグループで探究活動をおこない、制作や発表に取り組みました。この入試方式での選考対象に含まれますか。

A: グループでの探究活動をふまえて出願することは可能です。ただし、その場合、そのことを明示したうえで、グループのなかで自分が果たした役割や、自分自身の考察内容を具体的に説明する必要があります。

Q: 第 2 次審査のプレゼンテーションでは、自分の PC を使用することはできますか。

A: 使用できません。大学が用意した PC を使用する必要があります。あらかじめスライドのファイル (PDF 形式) を提出していただき、それをスクリーンに映し出しながら口頭で発表します。プレゼンテーションに関する詳しい指示は、第 1 次選考の合格者に送付する書類にてご連絡します。

Q: プレゼンテーション用のスライドについては、どのような指定がありますか。

A: スライドを横長 (横縦比 4:3) の PDF ファイルで作成してください。スライドは Microsoft PowerPoint や Google スライド等のアプリケーションで編集することができますが、最終的には PDF 形式に変換したファイル (拡張子 pdf) を提出していただく必要があります。10 分間というプレゼンテーション時間に収まる分量であれば、スライドは何枚にわたっても構いません。ただし、アニメーション機能のほか、動画や音声などのコンテンツをスライドに埋め込むことはできません。

Q: プレゼンテーションは「日本語または英語による」とありますが、使用言語は合否判定に影響しますか。

A: プレゼンテーションでは、使用言語が日本語か英語かという選択自体によって有利・不利が生じることはありません。なお、質疑応答は原則的に日本語でおこないますが、プレゼンテーションの内容等にあわせて英語を用いることもあります。

Q: プレゼンテーションでは、自分のノートやメモを持ち込むことはできますか。

A: プレゼンテーションの会場では、大学がスライドを操作するための PC とタイマーを用意します。受験者が自分のノートやメモを見ること、PC やスマートフォンなどの電子端末を使用することはできません。

Q: 質疑応答では、プレゼンテーションの内容以外の一般的な面接の質問 (志望動機や高校生活など) も含まれますか。

A: 質疑応答は、主に探究活動報告書とプレゼンテーションの内容についておこないます。